

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営理念

保証事業の公正かつ堅実な運営を通じて、社会資本整備の円滑な推進と建設産業の健全な発展に貢献する

## 前払金対応

22県・836市区町村地域数

## 電子保証導入

22県・322市区町村地域数

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 仕事を伸ばす

営業力・市場対応力の向上。顧客データ体系化、営業ツール充実、新規事業挑戦。(株)建設経営サービスのコンサルティング・講師派遣を戦略化

## 2. 仕事を磨く

改善力・関係性の強化。非対面型業務確立、発注者への働きかけ強化、社会貢献強化。電子保証導入推進、経費精算システム導入

## 3. 仕事を高める

地力・やる気の向上。業務遂行能力向上、人事体系再構築。給与制度・再雇用制度見直し、社内インターンシップ実施

## ③ 対処すべき課題

## ① 建設業界の環境変化対応

- ・担い手確保・育成への対応
- ・建設資材価格高騰への対応
- ・地政学的リスク（燃料価格高騰）への留意

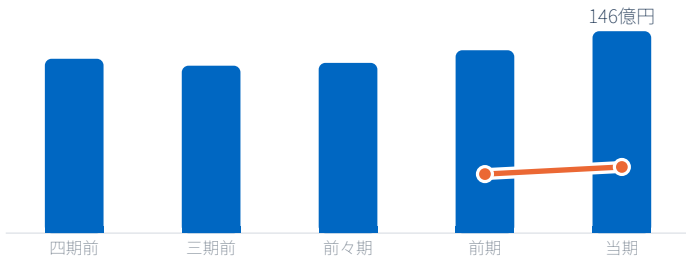
## ② 顧客ニーズへの対応

- ・きめ細やかな営業活動の強化
- ・顧客利便性向上（電子保証・前払金制度）

## 面接で使えるポイント

- ・中期経営計画フェーズⅡ（2024～2026）で『仕事を伸ばす・磨く・高める』の3本柱を展開し…
- ・建設業に特化した経営コンサルティングを手がける子会社と連携し、業界全体の課題解決に貢献する戦略を構築
- ・社内インターンシップやエンゲージメント向上施策を通じ、従業員が建設産業の健全な発展を実感できる環境づくり

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社及び子会社2社、関連会社1社により構成されております

主力事業・セグメント

- ・保険業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率32.8%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高  
146億円営業利益率  
32.8%財務健康度  
69点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 56.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
－（未開示）平均年齢  
－（未開示）平均勤続  
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

